

むかいまち NEWS

令和7年1月発行 第45号
向町地区コミュニティ推進会議
会長：浅井 真
事務局：向町地区集落支援員
☎ 43-2350

防災について考える研修会開催

12月15日(日)に中央公民館で、『今すぐたのしくできる「防災出前講座」』が開催されました。

【主な内容】

- ① 町内防災士による防災O×クイズ
- ② 新庄警察署の防災講話(地震、火災時の避難等)
- ③ 危機管理室からの情報提供(防災マップの説明、防災グッズの展示)
- ④ 防災用具の体験・ワークシヨップ
- ⑤ 最上町食生活改善委員会(以後、「食改」という。)による防災時に役立つポリ袋レシピの実演・試食

今回の講座は、「分かり易く楽しみなから学び、体験しよう」をテーマに開催され、体験・ワークシヨップでは、日頃見ることのできない段ボールベツトやテント、毛布でできる担架、新聞紙で作るスリッパ等、皆さん楽しみながら実演に参加していました。

また、食改で調理したポリ袋レシピ(カレー、蒸しパン)やアルファ米の実演・試食についても、調理法やレシピについて多くの質問が出ていました。最上町でも豪雨災害が発生し、災害は「対岸の火事」とは言えない状況になっています。災害時には、「自分自身や家族が無事である事」が前提のうえで「身の回りの人を助けられる事」が重要です。日頃から防災に対する意識を持つこと。また、家族や近所の人と防災について話し合う機会を持つことが重要です。この機会に身近な人といざという時、どうするかを話し合っ頂ければと思います。



各地のサロンを訪問して

各地区の百歳体操、サロンを訪問させて頂き、早くも9か月が過ぎようとしています。どの地区でも温かく迎えていただき、常に感謝しています。百歳体操とサロンの目的として、健康増進と維持はもちろん、人との関わりを絶やさない、顔の見える関係の維持と言う目的があります。週1回、同じ地区の皆さんと顔を合わせ、お互いの近況を

地区の行事

十日町文化祭開催

各地区のサロンや百歳体操にお邪魔しておりますが、今回は、今年、三十一回目を迎えた十日町文化祭の紹介をします。十日町の公民館は、小国城址(通称、お城山)の入口にあります。早速見学させていたただくと、子供の習字や絵、大人の塗り絵、写真、切り絵、昔のアルバム、ユニフォームのコレクションや、ソノシート(昔のレコード)民族衣装など、地区の皆さんの作品やコレクションが綺麗に展示されていました。数年前までは、他の地区でも公民館で文化祭を開催していましたが、現在も継続しているのは十日町しかありません。



せん。毎日3名の方が交代で見学者の接待をしていました。その際、十日町の歴史や行事の話を伺いました。十日町は職人の町なので、手先が器用な方が多く、お祭りのお神輿や衣装など完成度の高いものを作ることができたそうです。地区の皆さんから伺う話は、どれも楽しく、職人の町、十日町の歴史を知るとともに、住民の皆さんの仲の良さが伝わってくる文化祭でした。

語り合い、冗談を言って皆で笑ったり、お互いをいたわり合い、ほのぼのとした雰囲気は親戚の集まりの様で、ほっこりした気分になりました。今年も皆さんと会えることを楽しみにしています。



新年あけましておめでとうございます。今年も、皆さんの地区にお邪魔させていただきます。その際は、色々な意見を聞かせてください。



★向町地区コミュニティ推進会議に関するお問合せ、向町ニュース、集落支援員の活動に対するご意見など、お待ちしております。

向町地区コミュニティ推進会議事務局
(43) 2350 中央公民館内

担当：石山 薫